



# 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月16日

上場会社名 株式会社 ホギメディカル

上場取引所 東

コード番号 3593 URL <http://www.hogy.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 保木 潤一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理部 部長 (氏名) 大橋 進

TEL 03-6229-1300

四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日

配当支払開始予定日

平成26年2月28日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	26,408	4.8	6,890	5.9	7,214	8.8	4,582	10.9
25年3月期第3四半期	25,203	4.7	6,505	5.6	6,629	7.5	4,132	13.9

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 6,114百万円 (32.0%) 25年3月期第3四半期 4,633百万円 (41.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	291.32	—
25年3月期第3四半期	262.71	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	82,888	74,456	89.8	4,733.28
25年3月期	78,279	69,602	88.9	4,424.56

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 74,450百万円 25年3月期 69,596百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	24.00	24.00	26.00	26.00	100.00
26年3月期	27.00	27.00	27.00		
26年3月期(予想)				27.00	108.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,760	5.0	8,970	10.6	9,160	9.7	5,730	9.2	364.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注)詳細は、添付資料3ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	16,341,155 株	25年3月期	16,341,155 株
26年3月期3Q	611,966 株	25年3月期	611,583 株
26年3月期3Q	15,729,351 株	25年3月期3Q	15,729,778 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当医療機器業界の環境は、国内経済が景気回復に向けて上向きの循環への動きがあるものの、社会保障費増加等による国の厳しい財政状態もあり、医療機関における効率的な医療費の活用をサポートすることが重要な状況となっております。このような中で各企業においては、より一層顧客ニーズに合わせた製品・サービスを提供することが求められております。

このような環境の下、当企業集団では、製品・物流・情報管理からなる「オペラマスター」の販売強化と、キット製品の販売拡大、新製品の開発及び販売に注力してまいりました。「オペラマスター」の販売では、学会・セミナー等の活動を通じて医療機関の関係者へ理解の促進を図り、24件の医療機関と契約を締結することができました。一方、解約は4件で、累計契約件数は197件となりました。また、「オペラマスター戦略」を更に発展すべくシステムの機能充実と拡張を行い、手術室運営の効率化と医療機関の経営改善に貢献する「手術管理システム」の営業活動強化に努めており、導入に前向きな医療機関が増加してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は26,408百万円（前年同期比4.8%増）となりました。手術用品類の医療用キット製品の売上高は、「オペラマスター」を中心としてキット全体の販売が増加し、13,640百万円（同9.5%増）となりました。

売上原価は、海外取引の際に円安の影響を受けましたが、生産量増加および生産体制の改善を行ったことにより原価率が改善いたしました。販売費及び一般管理費は、新製品関連の費用や「手術管理システム」の償却費もあり増加いたしました。これらの結果、連結営業利益は6,890百万円（同5.9%増）となりました。また、連結経常利益は7,214百万円（同8.8%増）、連結四半期純利益は4,582百万円（同10.9%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は82,888百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,608百万円増加いたしました。流動資産は44,899百万円となり、3,862百万円増加いたしました。主な要因は、現金及び預金の増加2,607百万円、受取手形及び売掛金の増加1,275百万円となります。固定資産は37,988百万円となり746百万円増加いたしました。うち有形固定資産は、減価償却費が有形固定資産の取得を上回り、27,739百万円となり690百万円減少いたしました。無形固定資産は1,701百万円となり大きな変動はありませんでした。投資その他の資産は8,547百万円となり、投資有価証券の購入と売却、時価評価等により1,341百万円増加いたしました。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は8,431百万円となり、前連結会計年度末に比べ245百万円減少いたしました。流動負債は6,614百万円となり696百万円減少いたしました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少310百万円、賞与引当金の減少256百万円となります。固定負債は1,816百万円となり451百万円増加いたしました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産の部は74,456百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,854百万円増加いたしました。主な要因は、当四半期純利益4,582百万円の計上による増加、剰余金の配当による1,258百万円の減少となっております。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の88.9%から89.8%となりました。

### (キャッシュ・フローについて)

当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、以下に記載のキャッシュ・フローにより24,713百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,608百万円増加いたしました。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益を7,300百万円、減価償却費を2,110百万円計上し、売上高増加による売上債権の増加1,214百万円、たな卸資産の減少263百万円、仕入債務の減少393百万円、法人税等の支払2,691百万円がありました。この結果、営業活動によるキャッシュ・フローは4,902百万円となり、前年同期に比べ1,628百万円増加いたしました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却による収入 556 百万円を計上した一方、有形固定資産の取得による支出 990 百万円、投資有価証券の取得による支出 300 百万円があり 1,178 百万円の支出となりました。なお、前年同期に比べ投資有価証券の売却等により投資活動によるキャッシュ・フローは 501 百万円支出が減少いたしました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払等がありました。この結果、1,259 百万円の支出となり、前年同期に比べ 141 百万円支出が増加いたしました。

通期のキャッシュ・フローにつきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは、約 7,500 百万円の増加を予想しております。投資活動によるキャッシュ・フローは、新キット工場建築等により約 6,300 百万円の支出を見込んでおります。財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金の支払いにより約 1,700 百万円の支出を見込んでおります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の国内経済は、消費税増税による需要の変動や円安による輸入品・材料費の高騰等の懸念材料もありますが、景気拡大が続いていくと予想されます。一方で医療環境においては、医療費抑制と医療制度改革の政策が継続されていくと予想されます。

当企業集団におきましては、「飛躍へのためめぬ挑戦」を会社方針とし、「オペラマスター戦略」の更なる飛躍へ向けて「手術管理システム」の販売拡大とシステム機能の充実と拡張および「医療の現場に貢献する製品」をコンセプトとした新製品の開発を推進してまいります。

通期の予定といたしまして、付加価値の高い安全な製品の安定供給を目的とした新キット工場建築を 2014 年 1 月に着手いたします。当初予定から建物規模拡大と免震構造を取り入れたこと及び建築費値上りにより建物費用は 15,200 百万円となりました。生産設備費用につきましては生産量に合わせた投資と考えており、具体的内容につきましては確定後に開示いたします。新キット工場の稼働時期は 2017 年を予定しております。

その他、従業員の退職年金制度を確定給付企業年金制度から確定拠出年金制度へ移行いたします。この退職年金制度の移行に伴い特別損失が発生する予定ですが、連結業績予想への影響はありません。

これらの状況を踏まえ、通期の連結業績予想は以下のとおりであります。

## (連結業績予想)

売 上 高	34,760 百万円	(前期比 5.0%増)
営 業 利 益	8,970 百万円	(前期比 10.6%増)
経 常 利 益	9,160 百万円	(前期比 9.7%増)
当 期 純 利 益	5,730 百万円	(前期比 9.2%増)

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

法人税等の計上基準

法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	22,471	25,078
受取手形及び売掛金	10,470	11,745
商品及び製品	3,703	3,713
仕掛品	341	348
原材料及び貯蔵品	2,944	2,875
その他	1,111	1,149
貸倒引当金	△5	△10
流動資産合計	41,037	44,899
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,966	11,597
機械装置及び運搬具（純額）	5,768	4,983
土地	9,410	9,454
建設仮勘定	789	1,166
その他（純額）	495	537
有形固定資産合計	28,430	27,739
無形固定資産	1,605	1,701
投資その他の資産	7,206	8,547
固定資産合計	37,242	37,988
資産合計	78,279	82,888
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,391	4,080
未払法人税等	1,324	1,348
引当金	460	188
その他	1,134	996
流動負債合計	7,311	6,614
固定負債		
引当金	186	134
その他	1,179	1,681
固定負債合計	1,365	1,816
負債合計	8,676	8,431

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,123	7,123
資本剰余金	8,336	8,336
利益剰余金	56,472	59,796
自己株式	△3,318	△3,321
株主資本合計	68,613	71,934
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,422	2,154
繰延ヘッジ損益	463	774
為替換算調整勘定	△902	△413
その他の包括利益累計額合計	983	2,515
少数株主持分	5	6
純資産合計	69,602	74,456
負債純資産合計	78,279	82,888

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	25,203	26,408
売上原価	12,317	12,855
売上総利益	12,885	13,553
販売費及び一般管理費	6,379	6,662
営業利益	6,505	6,890
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	45	60
為替差益	38	134
その他	37	128
営業外収益合計	124	327
営業外費用		
投資事業組合運用損	—	1
その他	0	2
営業外費用合計	0	3
経常利益	6,629	7,214
特別利益		
固定資産売却益	3	1
投資有価証券売却益	—	96
特別利益合計	3	97
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産廃棄損	2	10
特別損失合計	2	10
税金等調整前四半期純利益	6,630	7,300
法人税等	2,498	2,718
少数株主損益調整前四半期純利益	4,132	4,582
少数株主利益	0	0
四半期純利益	4,132	4,582



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,132	4,582
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	324	731
繰延ヘッジ損益	236	311
為替換算調整勘定	△58	489
その他の包括利益合計	501	1,532
四半期包括利益	4,633	6,114
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,633	6,114
少数株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	6,630	7,300
減価償却費	2,151	2,110
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	6	△9
受取利息及び受取配当金	△48	△63
投資事業組合運用損益 (△は益)	—	1
為替差損益 (△は益)	△51	△133
有形固定資産売却損益 (△は益)	△3	△0
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△96
売上債権の増減額 (△は増加)	△741	△1,214
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△779	263
仕入債務の増減額 (△は減少)	33	△393
その他	△623	△234
小計	6,575	7,530
利息及び配当金の受取額	48	63
法人税等の支払額	△3,349	△2,691
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>3,274</b>	<b>4,902</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,049	△990
有形固定資産の売却による収入	6	3
投資有価証券の取得による支出	—	△300
投資有価証券の売却による収入	—	556
貸付けによる支出	△9	△0
貸付金の回収による収入	8	9
その他	△636	△457
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△1,680</b>	<b>△1,178</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△0	△2
配当金の支払額	△1,117	△1,257
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△1,117</b>	<b>△1,259</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6	143
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	469	2,608
現金及び現金同等物の期首残高	19,239	22,105
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,709	24,713

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社及び連結子会社の事業は、医療用消耗品等の製造・販売並びにこれらの付随業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。